

爾余の団体互にその肅清の内に指導権を争ひ可き時でない。先づ農民は各級の如何に困難し可き状態に於てあるか此れに対する支配階級の政策がまた如何に我等農民の生活に蹂躪を及ぼしているかと大體に露骨に糾弾し、全勤労農民に対する支配階級への斗争を煽動激発しなくてはならぬ。此れが当面の政策として政府に農民を併呑するの即時解散である。先づ全日本の農家五百五十万戸の四割二百三十万戸は買米する。それをもつて農村の食糧を占めれば小作人は古米三斗長者と云はれいてゐる。それかど云へば秋の米が十一月に取れて十二月には小作米で扱ふ。一ノ二ノ三と小作米の残りを食へば四月に存ると扱ひつが空になつてゐること長持してゐるのである。全日本の小作農百五十万戸、自作兼小作農二百三十万戸に此れを念算して見ると飯米を買ふ農家が何億として悲しく落ぶてはないか。其処は我々は攻撃に移るが即ち政府に對し統制法の最高米価三十取五十五取の問題にないとは云はぬ。

然し人民が亂ゆるのを冷眼視して地主の利益と支配階級の財政政策の力の如何に取れと如何に云へるか、我々の断じて云へる通りであり、未だ断じて許さざる処である。我々は此の法律の運用を勤勞農民の生活を潤すために許容する事は出来ぬかとの逆であつた場合は断乎其の檢閲を大衆の正力に依つて敢然と誓ふものである。此処に於て我々は一切を勤勞農民の立場から考へ現在の農業恐慌に於て破滅のどん底に呻吟する農村生活の態に趣く可きである。

特に食糧恐慌に依つて惨状日甚當て得ざる農家農民に對し政府野黨米を併呑するの即時解散することを実現するものである。そして一十割の割に限度を決めて販売し其の損失補償を政府が負擔す可きである。これは都市の労働者にも直ちに適用が出来ないが農民提督の路線を具體化するものである。

この斗争題目は實に全國統一の最大の題目であり、又全勤勞大衆に訴へるに不当な………進んで臨時国会開催の中心問題として絶対不可缺なものである。最近の政府は青森内閣の存続を問題の問題としてゐるから若し新内閣が出来れば是れは要諦として此れに迫る可く………とも敢て叫ぶべく突撃す可き我等の必死的要求である。これは農民労働者、農業労働者、小商人はすべて関心すべき最大闘争要求である。特に農民戦線に於てはそれが全國的アツピールを遂げずにはこの戦線の統一は云々までもなく斗争の拡大は斯くして持つべきである。斯くの如き当面の喫緊な事より全勤勞農民戦線を拡大するに非ざれば是等なる戦線の企図は遂に空しく願望に終るであらう。次に養蚕問題である。此の問題は文字通り「修んて人を養ふ」の如きものであつて、当面の農村問題として深刻な所謂破産と爆発の前後に呻吟する農村の苛逆そのものである。本月当初の全国新聞が報じて余すところなきが如く沼津初級市場の値紋は血の如き暴落を以て、如実に物語つてゐる。

養蚕の買割二取六十六取一厘、白蠶の買割二取五十二取五厘、昨年の沼津養蚕相場に比較して養蚕の五取三十三取八厘、白蠶の五取二十六取八厘に對峙すれば其の半額である。若し此れを生産実費から見る時は全国養蚕組合聯合会の調査を以つてても其の損失喰込の差一取を越えてゐるのである。即ち該聯合会の報告する生産実費昭和九年度一貫当り三取八十取一十九分、先づ四取と見れば約一取四十取の損失である。これは我々の農民の争闘を殆んど半分以上見ないが若し此れを更に前記の如き使用と交換、また實際は使用に可きもの、飯を食はし可きものを算算すれば其の差に格段なものがあることは云々までもない。養蚕農家二百二十一万戸、養蚕産額五千貫として其の収入減は